

高浜市の未来を描く市民会議（第1回） 報告

日時 令和3年3月27日（土）

午後1時～2時

場所 高浜市役所会議棟

1 市長あいさつ

- 高浜市は、本来、令和4年度に第7次総合計画のスタートを切る予定でしたが、コロナの影響で今年度から策定し、令和5年度にスタートすることになりました。総合計画を作るのは、市民の皆さんです。皆さんの気持ちお考えを汲取りながら作ってまいります。
- 自分の得意なこと地域に関わり、たくさんの人に高浜を知ってもらおうと活動することで、周りを良くし、よりよいまちをつくることができるのではないかと。お互いを尊重し、楽しく自分の思い・意見をざっばらんに言い合い計画を作っていただけだと思います。

2 「総合計画」について（市役所総合政策グループより説明）

- 総合計画とは、大きな時代の変化があっても、ゆるがない、高浜市の目指す姿とそれにおかたっていくための手段をまとめたものです。
- 総合計画は、目指すべき将来像とまちづくりの方向性を示す「基本構想」そのために必要な各分野の方向性を示す「基本計画」、施策の体系に基づき具体的に実施することを明らかにする「アクションプラン」で構成します。



3 市の状況について（市役所総合政策グループより説明）

- 市の現状や社会動向（人口推移・外国人数・スマートフォン保有率など）
- 市の財政状況について
- 人工知能を活用した未来の高浜市のシミュレーションについて



4 市民会議について（まちづくりアドバイザー 坂本氏より説明）

- 今まで様々なイベントを実施してきたが、関わる人からの評価は得られるが、広がっていないことに気が付きました。自分と関わりのある人だけでやってもだめで、周りを巻き込んで広めていくことが大切です。皆さんが、考えたやりたいことを実施するためにどうしたら周りを巻き込めるかを一度考えてください。皆さんの持っている思いを実現することが大切です。この会議の目標としては、個人の夢をみんなで実現していくこと。さらに10年後の未来のために動いていくことも踏まえて考えていきましょう。
- 今後の市民会議で、皆さんには、キャッチフレーズを考えていただきます。そして、全体としてどんなまちにしていきたいかを考えて、行動を起こし、会議に参加していない市民の皆さんに広めていきましょう。簡潔に、お互いの意見を尊重しながら発言することを会議のルールとします。また、どんどん参加してください。目標を実現するために必要な人を誘って参加していただいても大丈夫です。



高浜市の未来を描く市民会議（第2回） 報告

日時 令和3年4月24日（土）

午後2時～4時20分

場所 地域交流施設「たかぴあ」

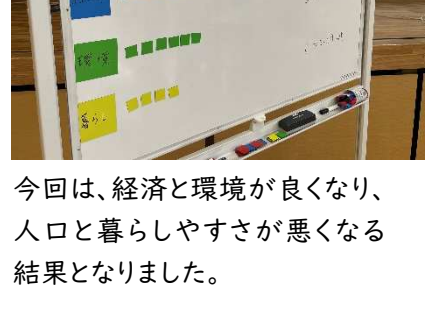
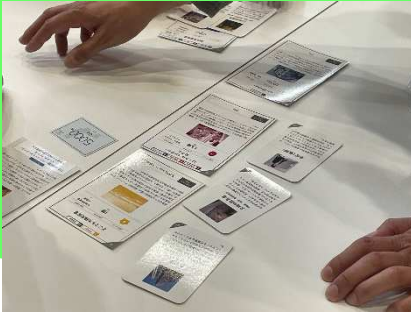
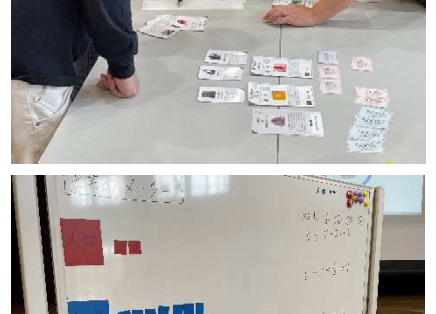
1 あいさつ（総合政策 GL）

○SDGsは世界を良くするための17つの目標と取組みを定めたものです。考え方や価値観が違う世界の国々が協力して目指し、取り組んでいく目標です。総合計画もいろいろな考え方を持つ市民の皆さんが、高浜市を良くするためにどうしたらいいか、ひとり一人がどんなことができるかを示す道しるべです。SDGsの考え方と似ていると思います。ゲームを通じて楽しく、SDGsを学んでいきましょう。



2 SDGsカードゲーム体験（まちづくりアドバイザー 坂本氏）

○3～4人で1テーブルとなって、SDGsカードゲームを実施しました。子どもや外国籍の方も参加。



今回は、経済と環境が良くなり、人口と暮らしやすさが悪くなる結果となりました。

高浜市の未来を描く市民会議(第3回) 報告

日時 令和3年5月22日(土)

午前の部: 午前10時~正午

午後の部: 午後1時~午後3時

場所 市役所会議棟

1 将来都市像ってなに?(まちづくりアドバイザー 坂本氏)

○将来都市像とは、簡単に言えば、第7次総合計画の看板となるキャッチフレーズです。

第6次総合計画のキャッチフレーズは「思いやり 支えあい 手と手をつなぐ 大家族たかはま」でした。みなさんで意見を出し合い、よりよいキャッチフレーズを高浜市全体で作り上げましょう!

2 10年後の「なりたい高浜市」について考えよう!!【ワークショップ①】



(1) みんなが思う理想の高浜市を語りましょう

○高浜市がこうなったらいいな。なりたい高浜市(総合計画でいう10年後の未来)を書き出しました。

(2) 理想の高浜市に近づくために必要なことを考えよう

○10年後の未来ために今何をしなければならないか、書き出しました。

3 My Best 「合言葉」を絞り出そう!【ワークショップ②】

○グループの皆さんで話し合っただけで練った意見や、他グループの意見を参考にしながらなりたい高浜市とそのため必要なことが完成!そしてそれらから、キャッチフレーズのもとになるキーワードを考え、書き出しました。



キーワードをもとに、キャッチフレーズを出し合いました。考えたキャッチフレーズはワークシートに記入しタカポへ投函! 今回の会議で皆さんからいただいたキーワードとキャッチフレーズは、市民公募で出たものと合わせて高浜市の未来を担う中学生を含めた多くの市民の皆様にご投票していただく予定です。



将来都市像
(キャッチフレーズ)
決定までの流れ

5月【今回】
理想の高浜市を話し合い、そこから10年後に実現したい高浜市の姿をキーワードにする。

6月
キーワードをもとに将来都市像を募集。市民会議で候補を絞ります。

7月
市内中学生と市民会議による投票を行い、将来都市像を決定!

第7次総合計画策定職員チーム会議(第2回) 報告

日時 令和3年6月21日(月)

午前10時～11時

場所 市役所会議棟

参加者：職員策定チームメンバー 17名(1名欠席)
事務局 4名

Ⅰ キャッチフレーズのキーワードをまとめよう

ワーク1 グループごとにふさわしい「見出し(タイトル)」をつけよう。 **ピンクの付箋**

→公開用のキーワード一覧は別紙1のとおり

ワークショップにてざっくばらんに出た言葉から、事務局にてよりキャッチフレーズに適した言葉を選び一覧にしたもの

(ワークショップの様子)

- ・4つのテーブルに分かれてグループワークを実施し、10分ごとに次のテーブルへ移動を4回くりかえした。
- ・各テーブルのワークシート(5/22の市民会議にて市民メンバーより出たキーワードをグルーピングしたもの)の横に、グループで話し合い、よりキャッチーな言葉をピンク色の付箋に書き出した。
- ・各テーブルに回る中で、意見が出ていないところをうめるように依頼。
- ・これから市民へ公募する際に、使いやすい言葉や、10年後の少し未来の高浜市を意識するような言葉も意識するよう依頼
- ・キャッチーな言葉を書き出すのが苦勞する様子もみられたが、多くの言葉が書き出された。



ワーク2 足りない要素(ワード)を追加しよう。 **水色の付箋**

・ワークシートの中に不足している言葉や、高浜らしさや10年後の高浜をイメージしたい言葉をひとり1つアイデア出し

高浜市の未来を描く市民会議(第4回) 報告

日時 令和3年7月24日(土)
午前10時~午前11時15分
場所 市役所会議棟

1 将来都市像(=キャッチフレーズ)の最終案を決定しよう

○中学生・市民の皆さんの投票結果を参考に、市民会議の皆さんでワークショップを行い、最終案候補を出し合い、投票を行い最終案を決定しました。

最終案 **人と想いが つなぐつながる 幸せなまち 大家族たかはま**

=込められた想い=

- ①これまで取り組んできたまちづくりを象徴する高浜市らしいフレーズ(言葉)である「大家族たかはま」はこれからもずっと残していきたい。
 - ②これまで、幸せ溢れるまちになるように、取り組んできた人やその想いをこれからの人たちにつないでいく。そして多種多様な人たちが幸せを感じ、共生していくためにたくさんのつながりを大切にしていくなまにしていきたい。
- ※「大家族」には、みんなで一緒に楽しみを分かち合い、幸せな時間をつくっていこう。そしてときには苦しいこともみんなで我慢、辛抱して乗り越えていこう、という家族のような「まち」にしていきたいという意味が込められています



2 投票で1位になった、『幸せな人と想いを つなぐまち たかはま』に『高浜らしさ』をプラスしよう!

(1) これまでの話し合いの中で出たキーワードや投票で皆さんが選んだエッセンスを踏まえて、より高浜らしく、かつ広くみんなに浸透するようなキャッチフレーズをグループで話し合いながら書き出しました。

(2) 上位2案を決めよう!

各グループから出されたキャッチフレーズの中で、お気に入り2点へ投票。

『高浜らしさ』として『大家族たかはま』が選ばれました



(3) 『大家族たかはま』が追加されたキャッチフレーズ5案から、改めて1人1票で最終投票を行い、**人と想いが つなぐつながる 幸せなまち 大家族たかはま**が最終案に決定しました。